



山桜会報

発行者
追手門学院校友会山桜会
会長 川原 俊明
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
追手門学院小学校内
TEL 06-6940-3481・FAX 06-6940-3482
© 2002 編集責任・松本暁子

CONTENTS

「山桜会のさらなる進化を」川原会長……………1
 大手前中高アンケート結果……………2
 委員会報告……………2
 理事長就任にあたって、学院長就任にあたって……………3
 ホームページのご案内、賛助金……………3
 「追小教育の新しい出発」川人小学校校長……………4
 ソルトレイクオリンピック体験談、中高(茨木)……………4
 大手前中高、新年会、ゴルフコンペ報告 東京山桜会 ……5・6
 同窓会・会員だより ……6・7・8

今年、例年になく桜の開花が早く、しかも開花期間が少し長かったように思います。おかげでたっぷり桜を楽しむことができました。

もろともにはあはれと思へ山桜花よりほかに知る人もなし
 山にもこもって修行を続ける行尊(ぎょうそん)大僧正が、山桜に込めた心境が何となくわかるような気がします。

さて、山桜会新執行部が発足して早や1年が経過しました。年初の山桜会新年会には、300人近くの方々が参加していただき、会場では、皆さんに新春の歌声を大いに楽しんでいただいき、また、多数の先生方ともお話をさせていただいたように、山桜会活動の活発さは見違えるばかりです。

山桜会活動への積極的に参加によって、「仲間と楽しめる」とともに「母校にも意義のある何かが見いだせる」……。

これこそが同窓会活動にとって大事な基本であり、多くの会員が楽しみながら、しかもその活動が母校追手門学院に貢献できるとすれば、これほど有意義なことはありません。

そのためにも、今年の山桜会活動は、昨年度の実績を踏まえ、もつと活動会員のすそ野を広げたい。そして、多くの卒業生が「追手門の卒業生で良かった」と心底思えるように、対外的な活動をさらに大きく展開していきたいと思えます。

《対外活動の強化》
 昨年度、山桜会では、ホームページの新規開設、小学校、大

手前中高、茨木中高の各先生方との懇談会開催、スポーツ大会や学園祭での模擬店出店、現役生徒へのアンケート調査の実施など、対外的な発信活動を活発に行い、それぞれに大きな成果を上げることができました。その結果、歴代会長がそれぞれに工夫を凝らして築き上げてこられた山桜会活動に、さらに一層の充実を図ることができました。

2年目に入る今年の山桜会活動は、昨年度の成果を着実に生かしながら、さらなる新たな展開を目指したいと思えます。それはなによりも、IT時代にふさわしく、よりリアルタイムなホームページの充実を図ることです。各行事案内、各学年・各期同窓会の案内など、会員のホームページに対する認知度を高め、その利用度を一気に高め、同窓会のことなら山桜会ホームページを見ればすべてがわかる、ところまでいきたいと思えます。

恩師の先生方の近況も、そして会員相互のネット交流を異業種交流の重要な手段として機能できるよう充実を図ります。

また、活動会員のすそ野を全国的に広げる意味で、支部活動を重視します。今年で45周年を迎える東京山桜会、山桜会の東京支部として、関東地方の卒業生を中心とした大規模支部です。これを模範として、さらに全国区での支部結成を目指しましょう。幸い、山桜会ホームページは、全国規模なので、各地域での拠点となる会員を見つけていくことは、決して難しくはないと思えます。

そして、先生方、現役生徒との接触をより頻繁に行い、山桜会の

認知度を高めたい。さらには、母校追手門学院の教育改革を積極的支援します。学院のインターシッ プ制度(体験学習)に社会人として受け入れ態勢を充実させます。中高生の職場体験などを通じての指導は、卒業生ならではの社会貢献といえるでしょう。

いま少子化傾向の中で、学校組織そのものが全国的にサバイバルの時代に入っています。母校の伝統を維持し、さらに母校が発展するために、卒業生の立場から社会人・企業人としての意見を学校法人にぶつけ、教育改革に向けての新たな刺激を提示したいと思えます。

【年会費導入の必要性】
 今期の山桜会活動は、従前の行動パターンを凌駕する勢いで拡大しています。また、より多くの会員が活動に参加して同窓意識を高

めていただくとともに、互いのメリットを共有しあうためには、多くの活動資金を必要とします。少子化傾向は間違いなく近い将来の山桜会の財政を圧迫します。この際、私たちは、中長期的展望のもとに山桜会の財政基盤を確立し、従前の終身会費制度を見直して、これを入会金とし、別途、年会費制度を導入する必要性が現実の課題となつていきます。既に評議員会、理事会でこの問題について熱心な議論がなされ、「年会費導入はやむなし」との意見が多数派を占めています。とはいえ、1人でも多くの会員が年会費制度の必要性をご理解いただいたうえで、自主的な会費納入が実践されなければ意味がなく、かえって会員の皆様に不公平感を与えることになっては、逆にマイナスとなるでしょう。さらにさかのぼって考えれば、

私たちが支払ったとされる終身会費は、私たちの父兄の負担のもとに納入されたもので、会員となつてから自分たちが支払ってきたものではありません。

むしろ、私たちが、山桜会の年会費を自発的に納入することによって、改めて追手門学院の卒業生であり、山桜会の会員であることの自覚が促されるのではないのでしょうか。また、それが母校の教育改革の一助となるならば、山桜会の同窓会活動の究極の目的とも合致するのではないのでしょうか。

この観点から見ても、年会費制の導入は、むしろ望ましく、近く導入する方向での検討に、ご理解を賜りたいと存じます。会員の皆様方のご健勝をお祈りします。

めていただくとともに、互いのメリットを共有しあうためには、多くの活動資金を必要とします。少子化傾向は間違いなく近い将来の山桜会の財政を圧迫します。この際、私たちは、中長期的展望のもとに山桜会の財政基盤を確立し、従前の終身会費制度を見直して、これを入会金とし、別途、年会費制度を導入する必要性が現実の課題となつていきます。既に評議員会、理事会でこの問題について熱心な議論がなされ、「年会費導入はやむなし」との意見が多数派を占めています。とはいえ、1人でも多くの会員が年会費制度の必要性をご理解いただいたうえで、自主的な会費納入が実践されなければ意味がなく、かえって会員の皆様に不公平感を与えることになっては、逆にマイナスとなるでしょう。さらにさかのぼって考えれば、

山桜会のさらなる進化を

新体制2年目の活動目標と、年会費制導入を考える

会長 川原俊明

平成 **14** 年 **6** 月 **23** 日(日)

11:00 ~ 15:00

総 会 午前11時 ~

講演会 午後11時45分 ~

宮本 直和先生
 (追手門学院小学校)
 講演テーマ
「起業家教育序説…」

懇親会 午後12時55分 ~

会 場 リーガロイヤルホテル
山楽の間

会 費 8,000円(学生無料)

お問い合わせは**山桜会事務局**まで
 TEL 06-6940-3481 FAX 06-6940-3482

出欠のお返事は同封の返信ハガキにてお早目に

めていただくとともに、互いのメリットを共有しあうためには、多くの活動資金を必要とします。少子化傾向は間違いなく近い将来の山桜会の財政を圧迫します。この際、私たちは、中長期的展望のもとに山桜会の財政基盤を確立し、従前の終身会費制度を見直して、これを入会金とし、別途、年会費制度を導入する必要性が現実の課題となつていきます。既に評議員会、理事会でこの問題について熱心な議論がなされ、「年会費導入はやむなし」との意見が多数派を占めています。とはいえ、1人でも多くの会員が年会費制度の必要性をご理解いただいたうえで、自主的な会費納入が実践されなければ意味がなく、かえって会員の皆様に不公平感を与えることになっては、逆にマイナスとなるでしょう。さらにさかのぼって考えれば、

私たちが支払ったとされる終身会費は、私たちの父兄の負担のもとに納入されたもので、会員となつてから自分たちが支払ってきたものではありません。

むしろ、私たちが、山桜会の年会費を自発的に納入することによって、改めて追手門学院の卒業生であり、山桜会の会員であることの自覚が促されるのではないのでしょうか。また、それが母校の教育改革の一助となるならば、山桜会の同窓会活動の究極の目的とも合致するのではないのでしょうか。

この観点から見ても、年会費制の導入は、むしろ望ましく、近く導入する方向での検討に、ご理解を賜りたいと存じます。会員の皆様方のご健勝をお祈りします。